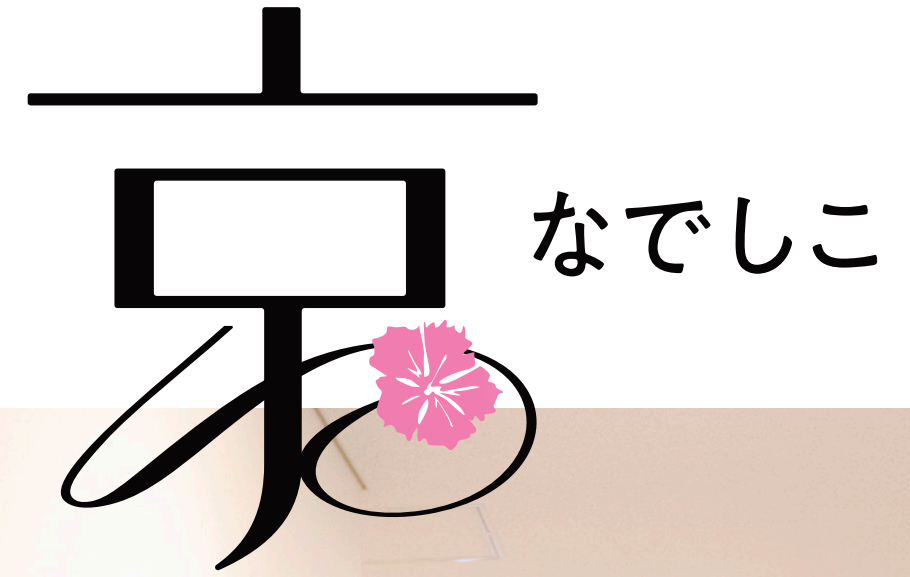


No.215

Autumn | November 2022

KYOTO  
SAISEIKAI  
HOSPITAL  
kyoto.saiseikai.or.jp



特集  
おなかと  
内視鏡  
がん治療における  
内視鏡の役割

社会福祉法人 恩賜財団 済生会とは

済生会は、明治天皇が医療によって生活困窮者を救済しようと明治44(1911)年に設立しました。100年以上にわたる活動をふまえ、今、次の三つの目標を掲げ、日本最大の社会福祉法人として全職員約64,000人が40都道府県で医療・保健・福祉活動を展開しています。

- 生活困窮者を濟(すく)う
- 医療で地域の生(いのち)を守る
- 医療と福祉、会を挙げて切れ目のないサービスを提供

病、老い、障害、境遇…悩むすべてのいのちの虹になりたい。済生会はそう願って、いのちに寄り添い続けます。

総裁：秋篠宮皇嗣殿下 会長：潮谷 義子 理事長：炭谷 茂

なでしこ紋章の由来



初代総裁・伏見宮貞愛(ふしみのみやさだなる)親王殿下は、明治45年、済生会の事業の精神を、野に咲く撫子(なでしこ)に託して次のように歌にお詠みになりました。

露にふす 末野の小草 いかにと あさ夕かかる わがころかな

野の果てで、露に打たれてしおれるナadeshikoのように、生活に困窮し、社会の片隅で病んで伏している人はいないだろうか、いつも気にかかっていたかな

この歌にちなんで、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花葉に露をあしらったものを、大正1年以來、済生会の紋章としています。

saiseikai.or.jp



実は、9月から当院でもツイッターをはじめました。有名企業の公式アカウントでは「中の人」が大活躍で会社をPRし、消費者のみなさんと近い距離感で親しみのあるツイートをしています。当院もそうなりたいたい…と思っているのですが、9月に開設して、この原稿を書いている10月中旬でフォロワーさんは73人です(貴重でありがたい73人の方々、どうもありがとうございます)。

当院のツイッターもバズって有名になって、当院のことや医療や健康のことにたくさん関心をもってもらいたい。言葉のあやというコラムを書いているし、ツイッターというSNSで「言葉」で勝負したい。そう意気込んでいるものの、140字を埋めるのにパソコンの前で考え込んでしまいます。医療・健康について役立つ情報とは何なのか、病院をもっと身近に感じてもらうためにはどうしたらいいのか、いつも迷いながら「中の人」のひとりとして奮闘中です。(M)

医療や健康を身近に感じていただけるように、楽しい情報発信をしていきます。みなさまのフォローをお待ちしています!

アカウント名：  
京都済生会病院《公式》  
@kyoto\_saiseikai



KYOTO SAISEIKAI HOSPITAL

◎理念

思いやりの心・質の高い医療・明るい職場  
～医療を通して地域に貢献～

◎基本方針

- 患者さん本位の良質で安全・適切な医療の提供
- 地域に応える連携・救急・災害医療・健診と地域包括ケアの推進
- 多職種によるチーム医療と協働の推進
- 人材育成・確保、勤務環境改善と働き方改革の推進
- 経営改善と新築移転事業の遂行

◎受診案内

診療受付時間 8:50～11:00(予約診療の方は17時まで)  
診療開始時間 9:00から  
休診日 土・日・祝日・年末年始  
救急受付 24時間可能な限り対応  
(ご連絡のうえ来院してください。TEL 075-955-0111)

受診の際はおくすり手帳をお忘れなく



◎交通案内

- 駐車場あり(147台・有料)
- 阪急京都線「西山天王山駅」下車、西改札出口より徒歩5分
  - 阪急バス：1・3・80・82系統停車(停留所：京都済生会病院)
  - はっぴいバス：全ルート乗り入れ(停留所：京都済生会病院)

Facebook



Instagram



LINE 公式



〒617-8617 京都府長岡京市下海印寺下内田101番地 電話075-955-0111(代表) FAX075-954-8255 https://kyoto.saiseikai.or.jp/





# SDGsとソーシャルインクルージョン

この社会で生きていくのは、簡単なことではありません。社会保障制度が整った今日においても、病気や障がい、貧困の連鎖など、自分ではどうにもならないことのために社会から孤立してしまう人もいます。誰もが前を向いて、自分らしく生きることができたら素敵だと思いませんか。すべての人が社会で共に生きていくことを目指す、この2つの取り組みについて紹介します。

## ソーシャルインクルージョンってなに？

ソーシャルインクルージョンとは、2000年12月に厚生省(当時)でまとめられた「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会報告書」で初めて提唱された「社会的に弱い立場にある人々を含むすべての人を地域社会で受け入れ、共に生きていく」という理念のことです。これは済生会が目指す社会のあり方です。  
(<https://www.socialinclusion.saiseikai.or.jp/>)

## じゃ、SDGsは？

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことです。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

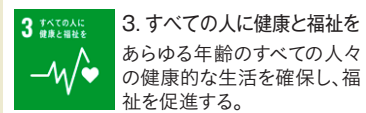


## 済生会でのこれら2つの関係性

無料低額診療事業やなでしこプランなど、済生会の「社会から誰一人取り残さない」ための活動は、ソーシャルインクルージョン・SDGsと理念を共にしています。済生会がソーシャルインクルージョン推進に取り組むことでSDGsの目標達成にも近づくことができると考えています。

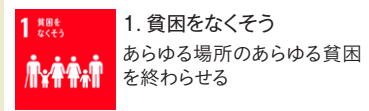
## 日々のわたしたちの仕事が目標への取り組み

当院が公的医療機関として地域医療に貢献することは、SDGsの3番目の目標「すべての人に健康と福祉を」の達成に貢献します。病院を日々運営し、地域の人たちの健康増進を担うことでSDGsに取り組んでいるといえます。



## 無料低額診療事業、なでしこプランも

済生会の創立の精神「施薬救療」を具現化した無料低額診療事業やなでしこプランを、SDGsの1番目の目標「貧困をなくそう」にあてはめて、済生会全体で生活困窮者支援に積極的推進に取り組んでいます。



《施薬救療とは》「生活苦で医療を受けることができずに困っている人々を施薬救療(無償で治療すること)によって救おう」という明治天皇の済生勅語の中のお言葉。創立以来、済生会の活動の柱となっている。

《なでしこプランとは》医療福祉サービスが届きにくいホームレスや家庭内暴力(DV)被害者、刑務所出所者、障がい者、高齢者、在留外国人等に、巡回健診、予防接種、健康相談などを行う、済生会独自の生活困窮者支援事業。

## 当院のソーシャルインクルージョン

1階の「NAKANOTEI COFFEE 西山」は障がいのある方の就労を支援するカフェです。小児科病棟のホスピタルアートは産学連携によって制作されました。これらは当院の「まちづくり」と「ソーシャルインクルージョン」の取り組みです。SDGsの目標にも掲げられた「働きがい」や「まちづくり」、「パートナーシップ」を意識して取り組みました。



京都済生会病院では、すべての人が社会で共に生きていくことを目指して、今後も取り組んでいきます。

# INFORMATION

## 地域のイベントに出展!

9月10日に開催された長岡京まるごとヘルシーフェスタに出展しました! 当院のだしもの「隠れ肥満こっそり測定」に「こっそり」来てくださったみなさま、LINE公式の登録をくださったみなさま、ご来場いただきまことにありがとうございました。

今後、当院では地域のイベント出展や院内でのイベント開催などに取り組んでいきますので、ぜひ遊びにきてください。今後のイベント等の詳しい情報は、当院WEBサイトやLINE公式、各種SNSでご案内します。チェックしてくださいね!



## 読者アンケートにご協力ください

いつも「京なでしこ」をお読みいただきありがとうございます。このたび、より良い紙面づくりのために読者アンケートフォームを設けました。「このコーナーが好き」「こんなテーマを取り上げてほしい」など、みなさまのご意見・ご感想をぜひお寄せください。ご協力のほどよろしくお願いします。

読者アンケートはこちらの二次元バーコードから



## 旬の食材と栄養

### 林檎(りんご)

秋から冬にかけて旬を迎えるりんごには「一日一個のりんごは医者を選ばない」というイギリスのことわざがあるほど、栄養豊富な食材として有名です。現在、国内では約2000種類、世界では約15000種類ものりんごが栽培され、年間を通しておいしくりんごを楽しむことができます。りんごに含まれる食物繊維には善玉菌の増殖を促進させて腸内環境の改善をもたらす効果があります。また、シミやしわの予防に効果があるポリフェノール、動脈硬化や骨粗しょう症、高血圧などの生活習慣病の予防に期待ができるカリウム、カルシウム、ペクチン(食物繊維の一種)も豊富に含まれています。カットしたものをそのまま食べたり、火を通して甘くコンポートにしたりなど色々な楽しみ方ができるりんごですが、りんごの果汁には胃液の分泌と鉄の吸収を高め、貧血予防の効果もあります。そのため、妊婦さんや貧血気味の方には「すりおろしりんご」がおすすめです。







消化器内科部長・内視鏡センター長 **大野智之**

2022年6月の新病院移転に伴い、消化器疾患の診断・治療を行う「内視鏡センター」を新たにオープンしました。今回は当センターでの診療内容（特に消化器がんに対して行う内視鏡による診断・治療）を紹介します。

### 消化管（食道、胃、大腸など）がんの診断・治療

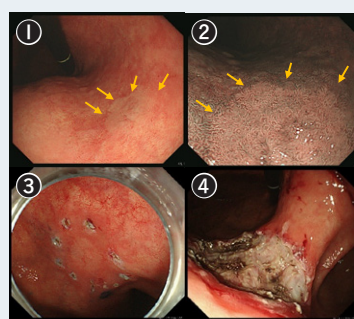
#### ●早期がんの診断・治療

直径1cm、長さ1m余りの内視鏡機器を、口や肛門から挿入します。その機能は、私が医師となって30年近くの間、劇的に向上しています。解像度の上昇（ブラウン管モニター→4Kパネルレベル）、拡大観察機能搭載（80倍～500倍まで、光学顕微鏡レベル）、画像強調内視鏡技術の開発（光の波長を変換し、消化管の粘膜模様や血管、色調を強調する機能）に伴い、より早期の消化管がん（前癌病変を含む）の診断が可能となりました。

内視鏡治療が可能と診断された症例については、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）等により治療を行います。いわゆる治癒切除（完全に取り切った）症例の生存率は極めて高く、5年生存率は100%近くになります（図1）。

また世間で流行している“AI”も内視鏡画像診断に導入されています。当院では、大腸がんや前がん病変であるポリープを機械で発見する機器（EndoBRAIN-EYE:OLYMPUS社）を導入し、より見落としの少ない正確な診断を目指しています（図2）。

図1 早期胃がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）



- ① 通常観察における早期胃がん病変（黄色矢印）
- ② 拡大観察ならびに色調強調観察（NBI）による観察。病変の境界や内部粘膜の乱れがよりはっきりします。
- ③ 周囲をマーキングして治療します
- ④ 治療後

図2 EndoBRAIN-EYEの仕組み（画像提供：オリンパスマーケティング株式会社）



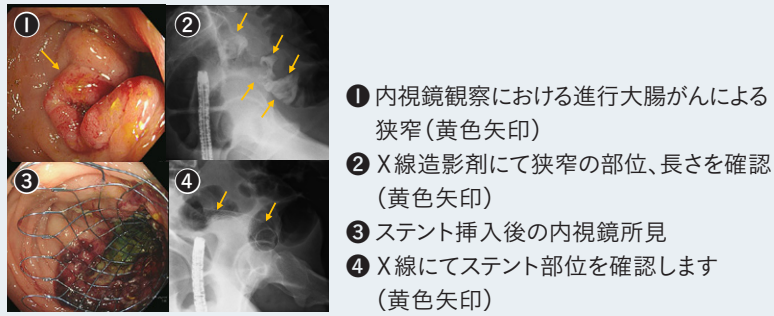
病変の存在を画面ならびに警告音にて伝えます。

#### ●進行がんの治療（消化管ステント留置など）

進行がんでは、消化管が狭窄し腸閉塞をきたすことがあります。この場合、内視鏡的に金属ステント（形状記憶合金で作成された網目、筒状のもの）を挿入し、食事や便が通過するようにします（図3）。



図3 進行大腸がんに対する内視鏡的ステント留置



- ① 内視鏡観察における進行大腸がんによる狭窄(黄色矢印)
- ② X線造影剤にて狭窄の部位、長さを確認(黄色矢印)
- ③ ステント挿入後の内視鏡所見
- ④ X線にてステント部位を確認します(黄色矢印)

## 胆管、膵臓がんの診断治療

### ●超音波内視鏡(EUS)を用いた診断や治療(針生検(FNA)、ドレナージ術など)

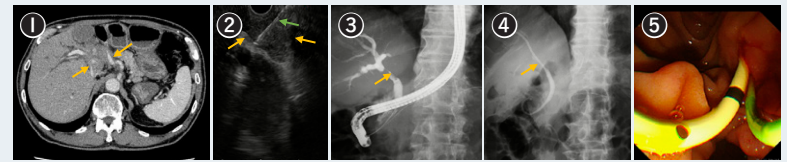
超音波内視鏡は、内視鏡の先端から超音波を発生することで消化管に接する臓器を観察することが可能になります。いわゆる腹部エコー(人間ドックなどで施行される体表からの検査)と比較して膵臓や胆道などの詳細な情報を得ることが可能になります。また、超音波ガイド下に組織採取を行いがんの確定診断を行います(図4の②)。近年、化学療法(抗がん剤治療)に際し、遺伝子情報を元に治療薬が選択されることもあり、極めて重要な検査です。また悪性腫瘍による胆汁排出障害に対してのドレナージ術なども行っています。

### ●ERCP(内視鏡的胆管膵管造影)および関連手技による胆膵悪性腫瘍に対する治療

がんによる症状はさまざまですが、胆膵悪性腫瘍では黄疸、胆管炎などを発症することがよくあります。この状態に対して一時的、あるいは(手術不能症例に

おいては)永久的にステント(金属、プラスチック素材)を留置し、症状の改善を図ります(図4)。

図4



- ① CT 肝門部領域胆管がん(黄色矢印)
- ② 超音波内視鏡による病変の描出(黄色矢印)および針吸引生検(緑色矢印)
- ③ ERCP X線画像 がんによる胆管閉塞(黄色矢印)
- ④ ERCP X線画像 狭窄部位にプラスチックステント留置後
- ⑤ ERCP 内視鏡画像 ステント挿入後(黄色チューブ)

## がんの早期発見にむけて まずは検査を受けていただくことが大切です

国内の消化器領域のがん罹患数、がん死亡数の順位はかなり高いのが実状です。早期発見、治療のために早めの対応(がん検診や人間ドックの受診、体調不良時の早期の医療機関受診)をお勧めします。

罹患数	大腸がん(1位)・胃がん(3位)
死亡数	大腸がん(1位)・胃がん(3位) 膵臓がん(4位)・肝臓がん(5位)
	(2020年がん統計より)

### 大野 智之 (おおの ともゆき)

消化器内科部長、内視鏡センター長  
1980年第5向陽小学校卒業、1993年東北大学医学部卒業。いわき市立総合磐城共立病院勤務のち1997年京都府立医科大学第3内科(現消化器内科)入局。大学ならびに関連病院勤務(国保京北病院、府立与謝の海病院、市立奈良病院、京都鞍馬口医療センター)、ポスドク(Baylor College of Medicine: Houston USA)を経て2018年4月より現職。

こんにちは

## 臨床検査科です。

### 質の高い検査結果をお届けするため 日々取り組んでいます

患者さんから採取した血液、尿、便、かくたん たいこうえき喀痰、体腔液など体液中の成分を調べる「検体検査」。心電図や超音波など身体の構造や機能について調べる「生理機能検査」。組織や細胞を顕微鏡で観察して、どのような病気のかを調べる「病理検査」について紹介します。



検体検査  
(微生物・輸血検査含む)

タンパク質や電解質、ホルモンなどの量を化学的に調べる検査と血球や尿成分を顕微鏡で調べる検査を行っています。微生物検査は、主に細菌による感染症の原因菌を特定する検査です。これらの検査結果は、病気の診断や治療に必要な情報となります。輸血検査は、輸血する血液製剤が患者さんに適合するかどうかの安全性を確認しています。



生理機能検査

生理機能検査には、超音波・心電図・肺機能・筋電図・睡眠時無呼吸検査などがあります。生体検査とも呼ばれ、体表面から診断が難しい器官を検査します。患者さんのリスクを最小限に抑えながら、体内の器官に異常がないかを調べることができます。患者さんに不安を与えないよう、会話で場を和ませるなど気を配りながら検査をしています。



病理検査

病理検査業務は病気や診断の原因究明を目的とし、手術や内視鏡・エコー下で採取した臓器・組織・細胞を規約に基づいて切り出し、染色をおこなって標本作成をしています。疾患ごとに変化する細胞は多種多様で、色とりどりの細胞を顕微鏡下で見るとはとても興味深く、日々増加している疾患や分類に困惑しながらも精進して取り組んでいます。